



地域子育て支援だより

久宝寺ぶねこども園

TEL072-992-2033



夜には虫の声が聞かれるようになりましたが、まだまだ厳しい残暑が続く今日この頃。みなさま、お変わりなくお過ごしでしょうか。夏の疲れが出る頃です。しっかりと水分を補給し、十分な睡眠や食事をとりながら、体調管理に気を付け、過ごしやすくなる秋の気候を心待ちにしたいものです。

先日、4年ぶりにオリーブの会（保護者の会）主催の『まぶね祭り』を行うことができました。このお祭りは企画・運営がオリーブの会の役員の方々や実行委員の方々が担ってくださる関係で、久しぶりの開催ということもあって、園内行事として取り組み、今回は地域の皆様や卒園児のお友だちへの案内は控えましたが、今後は感染症等の状況を確認しながら、少しずつ地域のお友だちも参加出来る取り組みを進めていきたいと思えます。

園庭開放より

7・8月は水遊びに取り組みました。お家から水着や濡れても良い服を着て来園し、園庭で水鉄砲や水風船をして楽しみました。的を立てて水鉄砲で狙ったり、お家の方と水の掛け合いを楽しむ子もいました。

まだまだ残暑は厳しく、暑さ指数や熱中症アラートなどの数値とのにらめっこは続きますが、楽しい園庭開放が出来ればと思います。

※水遊びは8月で終了しました。

☆9・10月の園庭開放のご案内 いずれも10時30分から11時30分

9月 20日(水) 27日(水) 10月 18日(水) 25日(水)

※遊具で遊ぶ場合は、子どもたちの安全のため、履き慣れた靴をご用意ください。

※遊びながら、水分が補給できるように水筒などをご用意ください。

※車でのお来園はご遠慮ください。自転車でお越し頂くようお願いいたします。

☆親子教室を開催します

開催日：10月25日・11月22日 29日 合計3回

*いずれも10時から10時30分

親子教室の参加募集について

対象児：2019年4月2日生まれ～2020年4月1日生まれのお子様

申込方法：9月11日(月)～19日(火) 13時～15時にお電話（☎992-2033）

にて、先着3名のお子様とさせていただきます。定員になり次第受付終了。3名に人数が達しない場合は、少人数で行います。

*申込時に、お名前・生年月日・住所をお尋ねします。

内容：親子でこども園体験をする。

製作や楽器遊び、体を動かす、歌を歌うなど

費用：製作時の材料費として3回分で100円を初回時に徴収します。

非常持ち出し袋をチェック！

災害に備えて非常持ち出し袋を買って、そのままになっていませんか？

市販のものは大人用のものなので、お子さんの年齢に合わせて必要なものを補充しておきましょう。

まずは、1泊2日の旅行の用意をするつもりで考えると、そろえやすいかもしれません。

チェック1

子ども用の持ち出し用品を準備しておこう

乳幼児用の非常持ち出し袋に入れておきたいもの

おむつ おむつを卒業していても、慣れない環境でおむつが必要になる場合も。

おしりふき

液体ミルクやレトルトの離乳食・哺乳瓶

数日分あればベスト。

着替え 少し大きめのものを入れておき、定期的に入れ替えるとムダになりません。

おもちゃ 緊張を和らげてくれます。

ミネラルウォーター 500mlを2～3本。

おむつやおしりふき、授乳用のケープなどをまとめた「外出用のバッグ」を常時置いておけば、非常時にそのまま使える持ち出し袋になります。



チェック2

持ってみよう

災害時にはベビーカーは使えない場合がほとんど。避難するときは赤ちゃんを抱っこひもで、小さな子どもは手をつないで連れていくことになるので、その状態で非常持ち出し袋を持ってみましょう。安心のためにあれこれ入れても、重くて持てなくては意味がありません。無理なく移動できるよう調整しましょう。

チェック3

実際に使ってみよう

非常時に備えて液体ミルクやレトルトの離乳食などを準備していても、食べたことがないと、いざというときに子どもが食べてくれないことがあります。普段から食べさせ、味に慣れておくことと安心です。備蓄品にも、賞味期限があります。大人用の備蓄品もチェックして、期限に近づいたものは食べてみましょう。好みの味や使いやすいものが見つければベストです。

- *簡易トイレ：避難所生活で一番困ることの一つにトイレ問題があります。簡易トイレは一度使用しておきましょう。
- *ホイッスル：救助を求めたいけど大声が出せない時、防災用のホイッスルがあれば居場所を音で知らせることができ、防犯用にも使えるので、災害時に限らず日常から携帯しておく。
- *小型テント：着替えや授乳時にとっても便利です。また、コロナ感染対策として避難所に持ち込めるケースもあります。
- *救急セット：絆創膏や消毒液に加え、止血や固定などに使える包帯や三角巾など。また、災害時には砂埃が舞いやすいため、マスクも実用的です。
- *靴・スリッパ：がれきやガラスなどで足をケガすることが多いです。靴を履いてから避難することに加えて、避難所で履き替えられるスリッパがあると便利です。
- *スポーツドリンク：熱中症予防と一緒に準備しておくことも大切です。
- *モバイルバッテリー：安否の確認の連絡や救助要請に連絡などでスマートフォンの使用頻度が高くなります。
- *トイレトペーパー：ティッシュペーパーよりもトイレトペーパーを入れておく方が効率的です。この時芯を抜いてつぶしておくこと、かさばらずにすみます。
- *防寒具・アルミブランケット：夜は気温が下がるので、手のひらサイズに折りたためるアルミ製のブランケットが重宝。
- *ガムテープ・軍手(家族人数分)：ガムテープは、壊れた物の固定や傷口の一時的な止血に活躍します。紙製よりも強度のある布製がオススメ。軍手は倒壊した住宅からの脱出や救出、その他作業や防寒対策にも使える万能品です。